

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成25年10月15日
【四半期会計期間】	第98期第2四半期（自平成25年6月1日至平成25年8月31日）
【会社名】	株式会社大和
【英訳名】	Daiwa Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 宮 二郎
【本店の所在の場所】	石川県金沢市片町二丁目2番5号
【電話番号】	(076)220-1100
【事務連絡者氏名】	経営戦略本部 財務統括室長 安田 和彦
【最寄りの連絡場所】	石川県金沢市片町二丁目2番5号
【電話番号】	(076)220-1100
【事務連絡者氏名】	経営戦略本部 財務統括室長 安田 和彦
【縦覧に供する場所】	株式会社大和富山店 (富山県富山市総曲輪三丁目8番6号) 株式会社大和東京駐在所 (東京都江東区木場二丁目18番11号 大丸コアビル6階) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第97期 第2四半期連結 累計期間	第98期 第2四半期連結 累計期間	第97期
会計期間	自平成24年 3月1日 至平成24年 8月31日	自平成25年 3月1日 至平成25年 8月31日	自平成24年 3月1日 至平成25年 2月28日
売上高(千円)	24,617,106	24,501,814	50,874,068
経常利益(千円)	103,615	178,214	534,345
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失()(千円)	18,773	136,337	506,114
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	167,227	374,033	316,994
純資産額(千円)	5,744,462	5,968,338	5,594,426
総資産額(千円)	45,159,537	42,615,674	43,410,197
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失 金額()(円)	0.67	4.85	18.01
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	12.7	14.0	12.9
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	290,900	732,737	655,425
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	602,431	16,107	175,199
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	567,673	797,841	1,856,703
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	3,565,787	3,019,520	3,068,515

回次	第97期 第2四半期連結 会計期間	第98期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 6月1日 至平成24年 8月31日	自平成25年 6月1日 至平成25年 8月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ()(円)	0.86	1.59

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。
2. 売上高には、消費税等は含まれていない。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社企業グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はない。

また、主要な関係会社における異動もない。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはない。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はない。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社企業グループ（当社及び連結子会社）が判断したものである。

（１）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気回復基調で推移したが、先行きに不透明感も残る状況であった。

百貨店業においては、大都市圏での売上高は増収基調となったが、地方圏においてはマイナス幅が縮小するにとどまった。

このような環境の中、当社企業グループとしては、主力の百貨店業において、お客様満足の実現に向け、「ライフスタイル・ソリューション型百貨店」づくりを目指した取り組みを引き続き進めてきた。

営業面では、利益効率を見極めた催事企画の実施など採算性を重視した営業活動を推進する一方、お中元早期受注策の徹底強化や、新たなサテライトショップ展開の開始等により、売上高はほぼ前年実績を確保した。

香林坊店においては、一昨年から全館改装の締めくくりとして紳士フロアを3月にリニューアルオープンし、先に実施した各フロアとの相乗効果を追求し、幅広い顧客層の取り込みに努めてきた。

また、富山店においては、新規アクセサリショップ導入や品揃えの充実を図り魅力向上に取り組むとともに、黒部・上市サテライトショップの品揃え・サービス等を見直し、デイリー性と利便性を備えた新たなショップ展開へと刷新し、地域顧客の要望に応えられるよう努めてきた。

高岡店では、地域に密着したきめ細かな営業活動に努め、収益面体質の一層の改善を図ってきた。

加えて、固定客基盤の拡大に向け、ダイワプライマリーカード会員の獲得に全社挙げて取り組んできた。

こうした取り組みと併せ、利益効率視点から店舗営業の改善改革を進め、売上総利益の向上に繋ぐとともに、経費面において、LED照明の導入拡大など引き続きコスト削減策を徹底し、利益確保に努めてきた。

その他事業においても、経営効率向上と収益力強化に取り組んできた。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は245億1百万円（前年同四半期比0.5%減）、営業利益2億2千2百万円（前年同四半期比156.9%増）、経常利益1億7千8百万円（前年同四半期比72.0%増）、四半期純利益は1億3千6百万円（前年同四半期は1千8百万円の四半期純損失）となった。

㈱大和カーネーションサークルを含む百貨店業は前述のリニューアルや固定客の拡大、更なる販売管理費の圧縮に取り組んできた。結果、百貨店業の業績は231億7千4百万円（前年同四半期比0.5%減）、経常利益1億7千7百万円（前年同四半期比24.5%増）となった。

その他事業では、それぞれの事業分野で経営効率向上と収益力強化に取り組んできた結果、売上高17億4千8百万円（前年同四半期比0.1%増）となった。また、経常損失は0百万円（前年同四半期は4千1百万円の経常損失）となった。

（２）財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は426億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億9千4百万円減少した。これは主として、売掛金やたな卸資産を圧縮したことによるものである。

負債については、366億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億6千8百万円減少した。これは主として、有利子負債の返済によるものである。

純資産については、59億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億7千3百万円増加した。これは四半期純利益の計上及び保有する上場株式の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加によるものである。

（３）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益1億9千1百万円（前年同四半期連結累計期間は税金等調整前四半期純損失2千4百万円）となり預り金の減少5億3百万円があったものの、減価償却費6億1千5百万円、たな卸資産の減少2億5千5百万円等により、7億3千2百万円（前年同四半期連結累計期間は2億9千万円）の増加となった。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出1億7千3百万円等があったものの、有形固定資産の売却による収入6千8百万円等により1千6百万円の増加（前年同四半期連結累計期間は6億2百万円の減少）となった。

また、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、短期借入金の返済による支出5億5千5百万円等により、7億9千7百万円（前年同四半期連結累計期間は5億6千7百万円）の減少となった。

この結果、「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、前連結会計年度と比較して、4千8百万円減少し、30億1千9百万円となった。

（４）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社企業グループが対処すべき課題については重要な変更及び新たに生じた課題はない。

（５）研究開発活動

該当事項なし。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	30,017,000	30,017,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	30,017,000	30,017,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項なし。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項なし。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額(百万 円)	資本準備金残 高(百万円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日	-	30,017	-	3,462	-	1,151

(6)【大株主の状況】

平成25年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
宮 太郎	石川県金沢市	1,802	6.00
倉敷紡績株式会社	大阪市中央区久太郎町二丁目4-31	1,464	4.88
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目2-1	1,427	4.75
宮 二郎	石川県金沢市	1,320	4.40
財団法人大和文化財団	石川県金沢市片町二丁目2-5	1,000	3.33
株式会社北國銀行	石川県金沢市下堤町1番地	961	3.20
株式会社北陸銀行	富山県富山市堤町通り一丁目2-26	905	3.02
清水建設株式会社	東京都港区芝浦一丁目2-3	827	2.76
ダイダン株式会社	大阪市西区江戸堀一丁目9-25	764	2.55
株式会社大市社	石川県金沢市片町二丁目2-5	720	2.40
計	-	11,191	37.29

(注)上記のほか、自己株式が1,919千株ある。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,919,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式27,452,000	27,452	-
単元未満株式	普通株式 646,000	-	1単元(1,000株) 未満の株式
発行済株式総数	30,017,000	-	-
総株主の議決権	-	27,452	-

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社大和	金沢市片町二丁 目2番5号	1,919,000	-	1,919,000	6.39
計	-	1,919,000	-	1,919,000	6.39

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の異動はない。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成している。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けている。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,140,595	3,086,600
受取手形及び売掛金	2,130,831	1,967,276
商品及び製品	3,192,321	2,945,828
仕掛品	10,400	7,557
原材料及び貯蔵品	84,848	77,937
繰延税金資産	46,043	50,421
その他	429,750	372,056
貸倒引当金	47,357	41,883
流動資産合計	8,987,433	8,465,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,864,047	39,708,730
減価償却累計額及び減損損失累計額	27,189,108	26,474,818
建物及び構築物(純額)	13,674,939	13,233,911
機械装置及び運搬具	615,931	615,914
減価償却累計額及び減損損失累計額	555,239	562,222
機械装置及び運搬具(純額)	60,692	53,691
土地	9,880,885	9,812,699
その他	1,293,633	1,307,425
減価償却累計額及び減損損失累計額	872,685	898,185
その他(純額)	420,948	409,239
有形固定資産合計	24,037,465	23,509,542
無形固定資産		
施設利用権	7,134	7,134
ソフトウェア	157,751	139,715
無形固定資産合計	164,886	146,850
投資その他の資産		
投資有価証券	2,608,902	2,979,443
差入保証金	7,445,216	7,363,263
繰延税金資産	61,371	47,050
その他	104,921	103,729
投資その他の資産合計	10,220,412	10,493,486
固定資産合計	34,422,763	34,149,879
資産合計	43,410,197	42,615,674

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,073,299	2,972,497
短期借入金	12,023,810	11,468,334
1年内返済予定の長期借入金	1,831,045	1,834,607
未払法人税等	50,706	36,680
商品券	6,682,504	6,524,683
預り金	4,060,777	3,715,594
賞与引当金	89,080	63,963
商品券等回収損失引当金	688,850	709,167
ポイント引当金	134,499	162,280
その他	889,453	938,256
流動負債合計	29,524,026	28,426,065
固定負債		
長期借入金	5,072,215	4,844,059
繰延税金負債	850,928	992,808
再評価に係る繰延税金負債	362,980	362,980
退職給付引当金	1,553,283	1,602,340
資産除去債務	192,398	194,515
環境対策引当金	9,900	9,900
その他	250,038	214,666
固定負債合計	8,291,744	8,221,270
負債合計	37,815,770	36,647,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,462,700	3,462,700
資本剰余金	1,151,981	1,151,981
利益剰余金	357,893	494,231
自己株式	588,946	589,068
株主資本合計	4,383,628	4,519,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	349,149	586,844
土地再評価差額金	861,648	861,648
その他の包括利益累計額合計	1,210,798	1,448,493
純資産合計	5,594,426	5,968,338
負債純資産合計	43,410,197	42,615,674

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	24,617,106	24,501,814
売上原価	18,969,372	18,626,042
売上総利益	5,647,734	5,875,772
販売費及び一般管理費	¹ 5,560,943	¹ 5,652,782
営業利益	86,791	222,990
営業外収益		
受取利息	489	561
受取配当金	36,678	34,791
長期未回収商品券	274,815	264,186
固定資産受贈益	60,907	-
その他	181,894	124,328
営業外収益合計	554,785	423,867
営業外費用		
支払利息	170,634	151,215
商品券等回収損失引当金繰入額	260,125	223,219
その他	107,202	94,208
営業外費用合計	537,962	468,642
経常利益	103,615	178,214
特別利益		
投資有価証券売却益	-	40,142
特別利益合計	-	40,142
特別損失		
固定資産除却損	86,691	27,230
減損損失	41,389	-
特別損失合計	128,081	27,230
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	24,466	191,126
法人税、住民税及び事業税	8,997	32,174
法人税等調整額	14,689	22,614
法人税等合計	5,692	54,788
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	18,773	136,337
四半期純利益又は四半期純損失()	18,773	136,337

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	18,773	136,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	148,454	237,695
その他の包括利益合計	148,454	237,695
四半期包括利益	167,227	374,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,227	374,033

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	24,466	191,126
減価償却費	626,605	615,685
退職給付引当金の増減額(は減少)	29,443	49,057
引当金の増減額(は減少)	36,223	17,509
固定資産除却損	86,691	27,230
投資有価証券売却損益(は益)	-	40,142
受取利息及び受取配当金	37,168	35,352
支払利息	170,634	151,215
減損損失	41,389	-
売上債権の増減額(は増加)	156,201	163,555
たな卸資産の増減額(は増加)	344,855	255,938
仕入債務の増減額(は減少)	197,324	100,802
未払消費税等の増減額(は減少)	7,560	20,970
預り金の増減額(は減少)	801,102	503,003
その他の資産の増減額(は増加)	11,768	97,790
その他の負債の増減額(は減少)	92,061	14,419
小計	445,829	896,357
利息及び配当金の受取額	37,168	35,352
利息の支払額	172,042	152,772
法人税等の支払額	20,053	46,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	290,900	732,737
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	59,088	54,080
定期預金の払戻による収入	68,077	59,079
有形固定資産の取得による支出	525,531	173,012
有形固定資産の売却による収入	-	68,185
無形固定資産の取得による支出	149,330	3,380
投資有価証券の取得による支出	1,050	5,000
投資有価証券の売却による収入	-	41,366
貸付金の回収による収入	152	213
差入保証金の回収による収入	64,763	81,952
その他の支出	3,419	3,411
その他の収入	2,994	4,193
投資活動によるキャッシュ・フロー	602,431	16,107

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	149,933	555,476
長期借入れによる収入	65,133	118,800
長期借入金の返済による支出	465,079	343,394
リース債務の返済による支出	17,649	17,649
自己株式の取得による支出	145	121
財務活動によるキャッシュ・フロー	567,673	797,841
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	879,204	48,995
現金及び現金同等物の期首残高	4,444,992	3,068,515
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 3,565,787	¹ 3,019,520

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項なし。

【会計方針の変更】

該当事項なし。

【会計上の見積りの変更】

当第2四半期連結累計期間
(自 平成25年3月1日
至 平成25年8月31日)

(ポイント引当金)

当社は、平成25年9月1日より、顧客に付与したポイントの利用について、従来のお買物券による1,000ポイント単位での利用から、1ポイント単位で利用できる方式に変更している。この変更に伴い、顧客へ付与したポイントの将来における利用額が増加すると想定されることから、当第2四半期連結会計期間末より、ポイント残高に対して変更後の利用見込額を計上することとしている。

なお、この変更に伴い営業利益・経常利益・税金等調整前四半期純利益及び四半期純利益が17,859千円減少している。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

該当事項なし。

【追加情報】

該当事項なし。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項なし。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりである。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
給料手当	1,283,152千円	1,231,661千円
ポイント引当金繰入額	19,300	27,781
賞与引当金繰入額	30,666	9,684
貸倒引当金繰入額	8,430	4,382
退職給付費用	9,895	75,060
賃借料	675,554	683,795

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
現金及び預金勘定	3,637,866千円	3,086,600千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	72,078	67,080
現金及び現金同等物	3,565,787	3,019,520

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項なし。

(2) 基準日が当連結会計年度の開始から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項なし。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項なし。

(2) 基準日が当連結会計年度の開始から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項なし。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	23,299,439	1,317,667	24,617,106	-	24,617,106
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,143	429,068	430,211	(430,211)	-
計	23,300,583	1,746,735	25,047,318	(430,211)	24,617,106
セグメント利益又は損失()	142,353	41,902	100,450	3,164	103,615

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷業、出版業、専門店管理運営、婦人服縫製業、ホテル業及び飲食業を行っている。

(注)2. セグメント利益又は損失()の調整額3,164千円は、セグメント間取引消去である。

(注)3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第2四半期連結累計期間において、「百貨店業」セグメントで固定資産減損損失41,389千円計上した。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	23,164,504	1,337,309	24,501,814	-	24,501,814
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,729	411,271	421,000	(421,000)	-
計	23,174,234	1,748,581	24,922,815	(421,000)	24,501,814
セグメント利益又は損失()	177,285	390	176,895	1,318	178,214

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷業、出版業、専門店管理運営、ホテル業及び飲食業を行っている。

(注)2. セグメント利益又は損失()の調整額1,318千円は、セグメント間取引消去である。

(注)3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	0円67銭	4円85銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	18,773	136,337
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	18,773	136,337
普通株式の期中平均株式数(株)	28,102,519	28,097,809

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

(重要な後発事象)

該当事項なし。

2【その他】

該当事項なし。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月15日

株式会社大和

取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 玉井 三千雄 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大和田 淳 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社大和の平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社大和及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。